

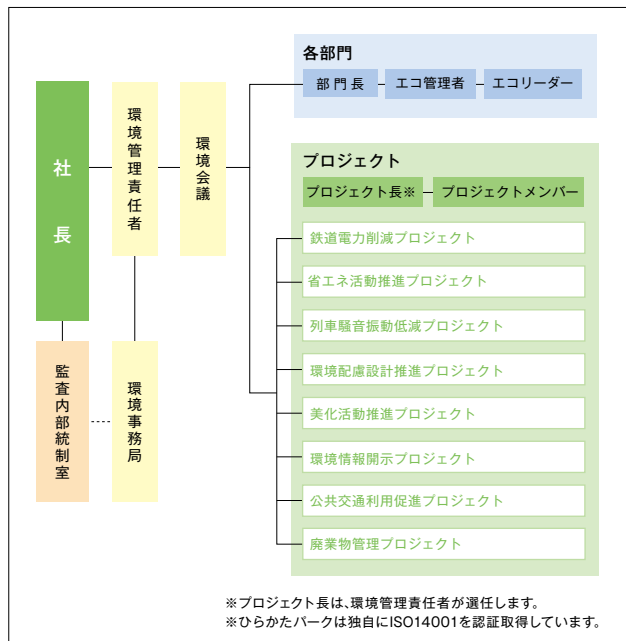
環境マネジメント

ISO14001に基づく運用

当社は平成16年3月に会社全体で「ISO14001」を認証取得しました。当社の環境マネジメントシステム(京阪EMS)は、ISO14001の要求事項に適合した環境管理規程で定められており、社長のもとに環境管理責任者を設置し、各部門長から構成される環境会議を開催することで全体の統括を行っています。

また、環境管理責任者は、複数の部門で横断的に取り組むべき事項についてはプロジェクトを設置し、環境負荷低減の取り組みを推進しています。

環境マネジメント体制図(平成25年7月現在)



環境教育

「教育訓練実施項目一覧表」を作成し、環境教育を実施しています。環境法規制に関する知識の習得や京阪EMSの概要、当社の環境に関する取り組み内容などを訓練しています。

教育実績表

| 項目 | 受講人数 |
|--------------|------|
| エコリーダー研修 | 61人 |
| 環境法規制セミナー | 41人 |
| 内部監査員養成研修 | 14人 |
| 新入社員への研修 | 55人 |
| 新任管理職・係長への研修 | 30人 |



環境法規制セミナー

内部環境監査

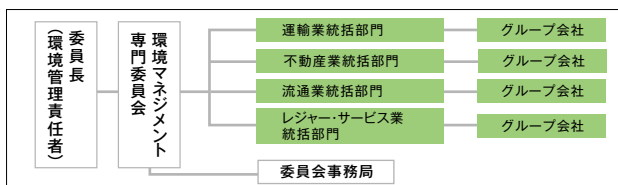
毎年9月から10月にかけて監査内部統制室のもと、各部門で選ばれた内部監査員が相互に内部環境監査を実施しています。平成24年度は13人の内部監査員を養成しました。平成25年3月31日現在において内部監査経験者は189人で、自部門での環境活動に活かしています。

京阪グループの環境マネジメント

マネジメント専門委員会

平成17年に「環境マネジメント専門委員会」を設置し、京阪グループ全体の環境経営を推進しています。委員会では各社の環境マネジメントシステム構築のフォローアップ、各社の情報の共有化や取り組み状況の評価を行い、改善に努めています。

京阪グループの環境マネジメント体制図



環境マネジメントシステム構築の推進

ISO14001やKESなどの環境マネジメントシステムの認証取得を推進するほか、京阪グループ独自の環境マネジメントシステム(準拠タイプ・基本タイプ・簡易タイプ・簡易+法遵守タイプ)を定め、各社の事業内容などを勘案して選択・構築し、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めています。

認証取得(外部)

認証タイプ ISO14001、KES(特定非営利活動法人KES環境機構による)などの環境マネジメントシステム要求事項に適合したシステムで、外部審査機構による審査登録を行います。

京阪EMS(内部)

準拠タイプ ISO14001に準じますが、その一部を省略したシステムです。

基本タイプ ISO14001の基本要素を抽出したシステムです。

簡易タイプ 環境にやさしい改善活動のみを取り組みの対象とするシステムです。

簡易+法遵守タイプ 簡易タイプに環境法規制遵守評価を加えたシステムです。

環境マネジメント認証の取得状況

ISO14001

| 年月 | 会社/事業所 |
|----------|-------------------------------|
| 平成12年9月 | ひらかたパーク |
| 平成13年3月 | 寝屋川車両基地 |
| 平成14年6月 | 浜大津アーカス |
| 8月 | 株式会社琵琶湖ホテル |
| 平成16年3月 | 京阪電気鉄道株式会社(全社で認証を受けたのは鉄道業界初め) |
| 12月 | 株式会社大阪マーチャンダイズ・マート |
| 平成17年3月 | 江若交通株式会社 |
| 9月 | 株式会社京阪百貨店 |
| 平成18年12月 | ケーター自動車工業株式会社 |
| 平成23年2月 | 株式会社京阪エンジニアリングサービス |

KES

| 年月 | 会社/事業所 |
|---------|-----------------|
| 平成17年9月 | 株式会社京都センチュリーホテル |
| 平成18年5月 | 京福電気鉄道株式会社 |
| 平成21年1月 | 京都タワー株式会社 |